

ぐんま東毛労基通信

	TEL	FAX	QR
太田労働基準監督署	0276-45-9920	45-5573	
労働基準協会 太田労働基準協会	0276-46-5774	46-1544	
館林労働基準協会	0276-72-8890	70-7622	
大泉労働基準協会	0276-20-1112	20-1113	

目次

太田監督署管内の労働災害発生状況	2
群馬労働局からのお知らせ 確認しよう 最低賃金!	3
全国労働衛生週間説明会が開催されました	4
会員訪問 第一石鹼株式会社	5
協会だより 産業安全衛生大会特別講演の講師及び演題が決まりました	6
太田協会の新ホームページの運用開始日を11月1日に延期します	6
11・12月の講習・教育のご案内	6

令和6年度 全国労働衛生週間スローガン

推してます みんな笑顔の 健康職場

安全で環境に優しい洗剤、化粧品などの製造販売を手掛け、「毎日のキレイ」を届ける「愛」にあふれる創業70年企業。

第一石鹼株式会社(以下「第一石鹼」と記します。)は、板倉地区において、主に一般家庭向けの洗剤、柔軟剤や化粧品の製造及び販売を行っています。



〈商品の一例〉

大阪から九州、そして板倉へ昭和28年11月、第一石鹼は大阪で化粧石鹼や洗濯石鹼などの製造業者として設立されました。当時の大阪は石鹼メーカーが多く、その中で一番を目指そうという願いと、たまたま「第一」という良い商号が未だ登記されていなかったことから、第一石鹼という社名がつけられました。

その後、昭和40年に北九州小倉の工場を買収、昭和58年に板倉町に関東工場を設立、翌年には本社も板倉町へ移転し、現在に至っています。板倉町が関東平野の中心部に位置し、東京や東北に近いという立地の良さが、決め手になりました。

改良・開発を継続して70年

昨年、第一石鹼は創業70年を迎えました。この間、原材料が油脂から石油系へ、形状が固体から液体へ、使用後に分解しやすく、リンを含まず、コンパクトな製品へと数多くの改良を積み重ねてきました。自社での研究開発に力を入れ、新しい技

術を導入することで、その時代に必要とされる商品群を生み出し続けた結果、今では年商120億円を達成しています。その内訳はOEMが5割、自社ブランドが3割、PB(プライベートブランド)が2割となっています。

経営のキーワードは「愛」

関東工場と事務所には神谷社長自らが書き下ろした「愛」という文字が至る所(30か所程度)に飾られ、「愛」があふれる職場となっています。その思いを社長にお伺いしたところ、「5年前に赴任したときに、従業員が他人事のような気持ちで仕事に取り組んでいるように感じられました。ものごとの進歩や発展、面白みは興味や関心を持つことから始まると思うのです。興味・関心を持つことをわかりやすく言い換えたのが「愛」という言葉です。私どもはお客様への愛、商品への愛、設備への愛、環境への愛、従業員への愛という「五つの愛」を持って、仕事をしたいと願っております。」とのことでした。



〈神谷社長直筆の「愛」〉

群馬労働局長表彰

本年7月、第一石鹼は群馬労働局長から労働安全衛生優良事業場と認められ、奨励賞を受賞されました。経営の基軸をSQDC(安全・品質・納期・コスト)に置き、安



〈安全体感教育〉

全を最優先に経営陣が率先し、労使が協力して安全衛生活動に積極的に取り組んでいること、労働災害を発生させていないことなどが高く評価されました。

具体的には、リスクアセスメント及び安全パトロールの実施や5Sの徹底、安全体感道場の参加、交通KYT研修の実施などにより、設備の改善や交通事故の防止、安全意識の高揚を図り、労働災害のリスクを低減させています。また、安全確認表示の視覚化やイエローカード作戦(2枚たまと誓約書を提出)などによる不安全行動の防止にも力を入れています。

将来に向かって

「今後、自社ブランド製品の売り上げを増やしたいと思っています。そのキーとなるのはeコマースです。」と神谷社長。

第一石鹼では大型モールへの出店だけでなく、自社でもECサイトを立ち上げています。自社のECサイトはブランディングの向上だけでなく、新商品開発のヒントを得たり、従業員のモチベーションのアップにもつながっていくものと思われます。

第一石鹼は今後も「五つの愛」を旨とし、必要とされる商品を開発・提供することで、将来にわたり、社会に貢献する企業として発展されていくことでしょう。

取材対応

代表取締役社長 神谷 哲也 様
安全環境管理部長 山崎 欣哉 様